

水稻作況試験情報 【平成27年産 普通期栽培】

香川県農業試験場（7月9日現在）

田植後は最高・最低気温とも平年に比べやや低く推移し、降水量、日照時間は少なかった。田植20日後の生育は、コシヒカリは茎数がやや多く、ヒノヒカリは、草丈、茎数、葉数とも過去平均値並であった。おいでまいは、過去平均値に比べ草丈やや長く、茎数、主稈葉数はやや少なかった。

※農業試験場の移転により、綾川町の試験ほ場における生育データの蓄積が無いため、コシヒカリ、ヒノヒカリは過去4か年平均値との比較とした。おいでまいは、過去2か年平均値との比較とした。

1. 作況試験の方法

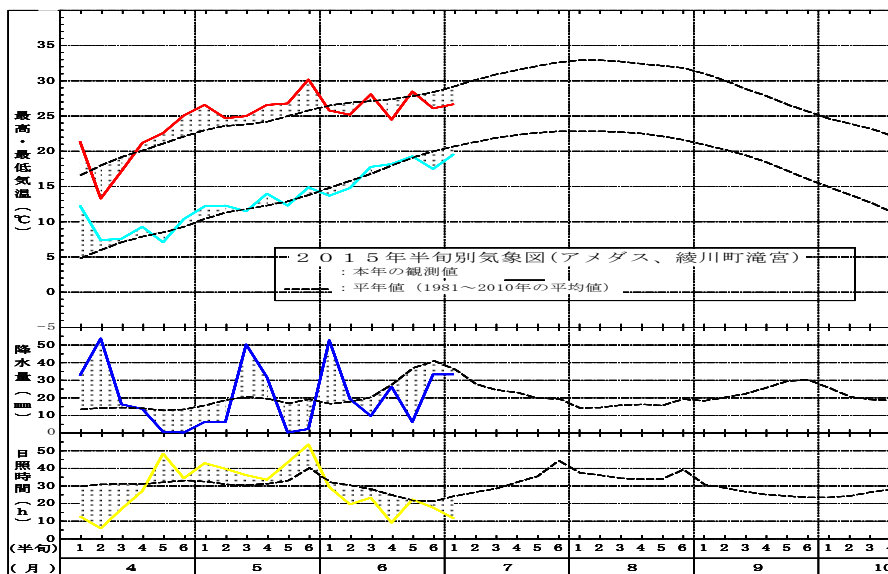
- 1) 供試品種：コシヒカリ、ヒノヒカリ、おいでまい
- 2) 播種期：5月29日 移植期：6月19日
- 3) 育苗方法：播種後、加温出芽させ、その後露地育苗した。
- 4) 栽植密度及び移植方法
18.5株/m²（30cm×18cm）、1株4本程度、機械移植
なお、生育調査株は移植直後1株4本に調整した。
- 5) 本田施肥（N成分kg/a）

	基肥	穂肥Ⅰ（予定）	穂肥Ⅱ（予定）
コシヒカリ	0.3	0.15	0.1
ヒノヒカリ	0.5	0.25	0.15
おいでまい	0.5	0.25	0.15

- 6) 使用肥料：化成肥料（N：P₂O₅：K₂O=14：10：12%）
- 7) 1区面積及び区制 1区250m²（コシヒカリ500m²）、2反復

2. 具体的データ

平成27年産水稻 気象表（7月1半旬まで）



平成27年度 水稲作況試験生育調査結果(7月9日現在)

調査 (月/日)	供試品種 項目	コシヒカリ			ヒノヒカリ			おいでまい		
		本年	過去4か年 平均値	差(比)	本年	過去4か年 平均値	差(比)	本年	過去2か年 平均値	差(比)
移植時 (6/19)	草丈(cm)	13.0	15.7	▲ 2.7	12.5	13.2	▲ 0.7	13.0	12.2	0.8
	主稈葉数(枚)	2.6	2.5	0.1	2.9	2.6	0.3	3	2.4	0.6
田植20日後 (7/9)	草丈(cm)	37.7	38.1	▲ 0.4	32.0	31.9	0.1	34.6	32.4	2.2
	茎数(本/m ²)	253	208	22 %	239	225	6 %	226	265	▲15 %
	主稈葉数(枚)	7.1	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	7.2	7.5	▲ 0.3
田植30日後 (7/19)	草丈(cm)		52.4			44.5			44.1	
	茎数(本/m ²)		515	%		538	%		635	%
	主稈葉数(枚)		9.5			9.4			10.0	
田植40日後 (7/29)	草丈(cm)		73.4			64.1			62.6	
	茎数(本/m ²)		563	%		570	%		711	%
	主稈葉数(枚)		11.0			10.8			11.7	
播種期(月/日)		5/29	5/30		5/29	5/30		5/29	5/30	
移植期(月/日)		6/19	6/20		6/19	6/20		6/19	6/20	
幼穂形成始期(月/日)			7/27			8/7			8/8	
出穂期(月/日)			8/15			8/28			8/30	
主稈止葉葉位(枚)			12.9			13.8			15.0	
穂数(本/m ²)			426	%		406	%		418	%
稈長(cm)			92.0			83.9			80.9	
穂長(cm)			18.2			17.8			19.0	
成熟期(月/日)			9/21			10/10			10/10	

注1) コシヒカリ、ヒノヒカリの差は過去4か年平均、おいでまいは、過去2か年平均との比較で示した。

注2) 茎数については対比(増減%)で表し、これ以外の項目については対差(実数値)で表した。なお▲は少ない、短い、早いことを示す。